

観光を産業に！  
「観光立市あしがが」  
を目指せ！



柳 収一郎  
議員

**問** 本市の豊富な観光資源の利点を生かし、観光を産業に結びつけるため全市民を挙げて「観光立市あしがが」の実現を目指すべきと考えるがどうか。

**市長** 最近では市民の手づくり企画によってにぎわいが創出され、足利のまちは着実に動き出していると肌で感じている。本市議会で決議いただいた観光都市宣言を観光のまちづくりに対する市民皆様の強い後押しであると受けとめ、市民を挙げての取り組みにより、宣言文にもあるようなまちづくりにつなげていく。

◆市道三重小俣通りの整備

**問** 同路線は三重地区の主要な幹線であり、多くの児童生徒が利用する通学路でもある。現道は歩道の幅が狭く危険な状況であり、早期の拡幅整備の必要性があると考えるがどうか。

都市建設部長

本路

線について拡幅整備の必要性を認識しているが、事業用地取得や家屋移転など多くの課題がある。そこで、当面は歩行者等の通行空間確保のため、警察など関係機関と協議を進めながら、安全対策に取り組んでいく。



▲市道三重小俣通り

市制施行100周年  
記念事業の検討を！



大須賀 幸雄  
議員

**問** 市制施行100周年を迎えるに当たり、市民会館の建て替えが記念事業として最もふさわしいと考えるがどうか。

**市長** 一つの候補としては十分あり得るかと思うが、市制施行100周年のタイミングにうまく合致できるかどうか、他の公共施設との建て替えの兼ね合いを考えながら、検討していきたい。

◆地域住民の取り組み

**問** 空き店舗活用や地域のイベント等が北仲通りへの出店を後押ししていると聞いているが、そうした動きをどのように捉えているのか。

**市長** 積極的に地域に向き、市民の声に耳を傾ける中で、「最近足利は元気だね」「にぎやかさが戻ってきたね」と声をかけられることが多くなってきた。その理由の一つにさまざまなイベントが市民の力で開催され、地域のにぎわいを生み出していることが挙げられる。北仲通りのよい連鎖は地域の方々それぞれに賛同する出店者や協力者の熱意と努力によるものであり、このよい連鎖を市内全域に広げていきたいと思う。



▲北仲通り

産後ママの  
安心サポートを！



冨永 悦子  
議員

**問** 平成29年6月市議会定例会で産後鬱対策の重要性を指摘した。平成30年度から産婦健診・産婦ケア事業が実施されるが、具体的な内容を聞きたい。

健康福祉部長

産婦健診は出産後間もない時期に産婦の心と体の健康を守るための健康診査を実施し、早期の支援を可能とするものである。また、産婦ケア事業は悩みを一人で抱え込む可能性がある産後4カ月未満の産婦を対象に、助産師等から産婦の心身の健康管理や授乳指導等を受けることができるものであり、どちらも費用の一部を市が助成する。



◆小・中学校での取り組みの推進

**問** 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に当たり、同大会組織委員会が教育プログラム学校編を策定したが、本市での取り組みを聞きたい。

教育次長

教育委員会として、全小中学校の同プログラム事業登録を申請した。

この大会をまたとないチャンスとして捉え、子供たちがスポーツの価値や、障がいのある人、海外の文化・社会等の多様性に関する理解を深める機会としたい。